

(8) 3学期 実習レポート! 「ライフ・イズ・ビューティフル」を上映!
シネマCafe & 「グループホーム訪問」



※映画の後、熱く神の愛を語る学生の話しに耳を傾ける会衆の様子

「この世の調味料となる!!!」をテーマに、石狩地域の塩となるべく、伝道実践によりイエスの愛を伝えようと3学期も学生が一つとなって実習に取り組みました。グループホーム訪問では、これまでに築かれた信頼関係がさらに深められ、福音の種まきに一歩前進できました。3月3日には「シネマカフェ」



を企画し、「ライフ・イズ・ビューティフル」を上映しました。地域から初めて学院を訪れる方々もおられ、上映後のメッセージでは感動して涙を流す方もおられました。また今回は時にかなってパワーフォーリングを用いることができ、すべて神様が導いて祝福してくださりました。

CFNJの「ハレルヤアカデミー」開校延期のお詫びとお知らせ

去る3月17日(土)学院のキッズホールにて、ハレルヤアカデミーのオープンハウスが行われました。時間をさいてご参加くださいました皆様、本当にありがとうございました。又、続く19日(月)~23日(金)迄の1週間、同じく学院のキッズホールを会場として、世界的規模のクリスチャンスクール(ACE教育プログラムを使用)の、スーパーバイザー訓練会が行われました。札幌近郊や旭川などから参加した、予想を上回る数の熱心な受講者(牧会者や教会のリーダー、子供を持つご両親たち)が、1週間の努力の末、めでたく予定の科目を学び終え、修了証書をいただくことが出来ました。この訓練会に恵みによって参加し学ぶことが出来たCFNJスタッフは、改めて、聖書を土台とした人格教育に重きを置くこのようなスクールが、この日本にどうしても必要であることを確認させられる良い機会となりました。この大切な責務を果たすために、聖書学院は今春4月にハレルヤアカデミーを開講すべく準備を進めてまいりましたが、ここに来て予期せぬ神様のお取り扱いや、ご配慮、又、ACEスクールの先駆者であられる諸先生方のアドバイスなどにより、更なる内容の充実と徹底を図るために開校時期を延期するほうが良いと思に至りました。今は改めて2008年4月開校を目指して準備を進めていく所存でございます。大きな期待を持って子供たちの入学を希望され祈っておられた皆様方には心から深くお詫び申し上げますと共に、この働きが間違いなく神様のご計画であり、その実現のために神様がCFNJにこの働きを担う最高の働き人と、多くの入学する子供たちを準備して下さるよう、共に祈りいただきますよう、心からお願ひ申し上げます。愛する皆様方の上に、神様の豊かな祝福をお祈りしてご挨拶とさせていただきます。



スーパーバイザー訓練会の様子

CFNJ 聖書学院 学院長 鍛冶川利文 副学院長 鍛冶川紀子 国際部長 ジェラルド・グドール



「マタイ・クルヴィラ師」が再び札幌へ! 教育文化会館小ホール
「イエス・キリストによる愛といやしの夕べ」

マタイ・クルヴィラ師が昨年10月に札幌に来た時に開かれた集会において、イエス・キリストの福音が力強く宣べ伝えられ、みことばに伴うしるしとしてガンや不整脈などがいやされました。今回も大きな期待を持って、ご家族、お友達をお誘いの上ご参加ください。

5月24日(木)
午後2時より
「牧師・リーダーセミナー」
●場所: 学院ホール

- と き: 5月23日(水) 6:30開場 7:00開会
- と ころ: 教育文化会館小ホール
- メッセンジャー: マタイ・クルヴィラ師
- 主催: 北海道合同賛美祈り会



宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネイションズ日本校

CFNJ 聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157
(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343
●HP: www.cfnj.com 郵便振替: 02780-4-4688
●e-mail: office@cfnj.com 学院長/鍛冶川利文



「勇敢でありなさい!」

●ゲストスピーチカーメッセージ
ホープチャーチ牧師 スティーブン・ケイラー師

「それから、ダビデはその子ソロモンに言った。「強く雄々しく、事を成し遂げなさい。恐れてはならない。おののいてはならない。神である主、私の神が、あなたと共におられるのだから。主は、あなたを見放さず、あなたを見捨てず、主の宮の奉仕のすべての仕事を完成させてくださる。」第1歴代誌28章20節

CFNJ NEWS

クライスト・フォー・ザ・ネイションズ・ジャパン聖書学院
2007年4・5月号 NO.122



卒業式メッセージ

勇敢でありなさい！

ホープチャーチ牧師
ステイブ・ケイラー

「それから、ダビデはその子ソロモンに言った。「強く雄々しく、事を成し遂げなさい。恐れてはならない。おのいてはならない。神である主、私の神が、あなたと共におられるのだから。主は、あなたを見放さず、あなたを見捨てず、主の宮の奉仕のすべての仕事を完成させてください。」」

第1歴代誌28章20節



真剣に耳を傾ける卒・修了生たち

(2)

今日卒業されるみなさんおめでとうございます！私は今日、聖書の中から、神様が私に良く語ってくださる言葉、私が助けられている言葉をみなさんにプレゼントしたいと思います。

私たちに励ましが必要です！

私はラーメンやゴルフなど大好きなものがたくさんあります。孫のことも大好きです！私は孫が生まれて本当に変わりました。頑固だった性格が柔らかくなりました。そして、もう一つ、大好きなもの、それは励ましです！励まされることが大好きです。あまりにも大好きなので、私自身も人を励まし、それが自分の使命の一つかなと思う時があります。しかし、励ますためには自分が先ず励まされなければなりません。今日、卒業される学生さんたちを励ましたいと思います。私も励まされてここのまで来ました。

私は17年前に千葉の船橋で教会を開拓しました。開拓するビジョンが与えられ、夢を持ってスタートしたのですが、その反面、私には自信がありませんでした。開拓では苦しい日々が続き、とても大変でした。しかし、その中で私を支えたのは励ましでした。家内が私を励ましてくれました。私達が住んでいた所の近くにドーナツ・ショップがあり、うまく行かない時は私は家内をデートに連れて行きました。そして、家内に「ホープチャーチについてどう思う？この教会は成長すると思う？僕に教会できると思う？自信がないんだけど。」と聞くのです。家内は、「スティーブ、もちろんよ。この教会は特別な教会よ。」と言いました。「本当？」「そう、教会は成長するわよ。」「すると思う？今は10人足らずだけど30人になると思う？」「30人？何言ってるの、スティーブ！50人、100人、500人、1000人！日本で一番大きな教会になるわよ！」「本当にそう思う？僕はすばらしい教会ができると思う？」「できるわよ！」「信じる？」「もちろんよ！あなたを信じてなかったら、わざわざアメリカを捨てて日本に来なかつたわよ！しっかりしなさい!!」と、私は家内に励まされてやり続けようと思ったのですが、数ヶ月のうちにまた家内をドーナツ・ショップに誘っていました。私はこれを何回繰り返したかわかりません。今も時々繰り返します。家内は呆れていますけどネ。

私たちに励ましが必要です。家内は人を励ますのが上手ですが、しかし、神様が最高に励ますお方であることを感謝します。私たちは人生の途中で落ち込みます。気が弱くなります。問題が起こる前から心配し恐れて、どれほど時間や感情を無駄にすることかわかりません。しかし、御言葉は私達を励まします。

「勇敢でありなさい！」

今日は、第一歴代誌28章から、ダビデがソロモンを励ました言葉を取り上げましょう。ダビデが次の世代にバトンタッチした場面です。これはたかさんのリーダーに語られた聖書の言葉であり、その一つの言葉をみなさんに語りしたいと思います。

今日のタイトルは、「勇敢でありなさい」です。第1歴代誌28章10節と20節を読みましょう。「今、心に留めなさい。主は聖所となる宮を建てさせるため、あなたを選ばれた。勇気を出しなさい。」(10節)「それから、ダビデはその子ソロモンに言った。「強く雄々しく、事を成し遂げなさい。恐れてはならない。おのいてはならない。神である主、私の神が、あなたと共におられるのだから。主は、あなたを見放さず、あなたを見捨てず、主の宮の奉仕のすべての仕事を完成させてください。」(20節)

今日もこの御言葉は有効です。今日も神様は私達に、又、卒業される一人一人にこれを語ってくださいます。みなさんは、これからどうなるのか、どこに行くのか、どのような働きがあるのかと思い巡らしていることでしょうか。しかし、それが何であれ、今日、神様はあなたに語られます。「勇敢でありなさい。」と。これは聖書のスピリットです。神様が用いるリーダーのスピリットです。モーセであってもヨシュアであってもそうです。イエス様もパウロも「勇敢でありなさい。」と語りました。なぜかというと、勇敢でなければできない大きな働きを私たちは受けているからです。人間の力ではやり遂げられない働きです。計算しても採算が合わない、予算を立てても足りない、わからない、もうだめだ、と思えるような働きに私たちは携わっているのです。人を救う、人を変える、教会を建て上げる、教会を成長させる、人を幸せにする、夫婦関係を幸せにする・・・それには勇気が必要です。

(3)

かかっているわけではありません。教会の必要を備えるのはあなたにかかっているわけではありません。人の問題を解決するのはあなたにかかっているわけではありません。神様の中にあるのです。資源は神様にあるのです。神様に中にすべての力、戦略、お金、知恵があります。すべての働き人を神様が用意してくださり、神様がやりなさいと言われたことを、神様は遠慮なく支えます。助けます。備えます。神様は私達の働きを完成させてくださいます。この三つを知る時に、私の内側から勇気がわいてきます。次に、五つのことに関して勇敢であることをお話します。

勇敢であることの5つのポイント

1. 偉大な神様を信じる故に、勇敢であれ！

私達の神様は弱い神様ではありません。以前は強かったけれど、今となっては年を召され弱ってしまったような神様ではありません。偉大な神様です。神様の力はいつも新しいのです。

2. 最高の福音を伝える故に、勇敢であれ！

私達にはグッドニュース、真実が与えられています。本当にグッドニュースですね。その福音を伝えるためにあなたは選ばれたので、くよくよしてはいけません。このグッドニュースを渋い顔で語ってはいけません。あるベテランの学長が若い神学生にこう言いました。「表情が大事だ。」と。「天国のことを話す時は表情を豊かに、大きな輝く笑顔で語りなさい。地獄のことを語る時には、普段の顔でいいですよ。」と。その普段の顔を変えましょう！福音を伝えるのです。主は良い神様であられ、私達を愛し、祝福されます。

3. 栄光の教会を建て上げる故に、勇敢であれ！

私たちは、世界で最も大切な働きに携わっています。それは主の教会を建て上げる働き人として選ばれているわけです。学院で学んだことをそれぞれの教会に帰って実践してください。

4. 素晴らしい時代に生かされている故に、勇敢であれ！

今は暗い、墮落した、罪に汚染された、悪がはびこっている時代と思っははいけません。その暗闇の中で神様は約束されます。暗闇は国を覆いますが、その只中で主の栄光が現れます。暗い時にこそ神様の力が表れます。罪が増し加わるところに神様の恵みが増し加わります。私たちは最も輝かしい、最も興奮すべき時代に生かされているのです。私は時々、自分の人生から20年か30年位マイナスにしたいなと思うときがあります。みなさんが羨ましいです。私はいろいろ学んでやっと分かった頃に、もう終わりなのです。みなさんは、大切な時に生かされています。モルデカイがエステルに言った言葉の通り、「あなたはこの時のために生かされている」のです。この時のために御国に来たのです。

5. 特別な使命をいただいている故に、勇敢であれ！

私には特別な使命があります。大切な使命があります。永遠に続く使命があります。その使命を神様から預かっている者として、私は勇気をもって主を信じます。私は祈ります。「あなたは私を選びました。ならば私はあなたに協力します。主よ、私はあなたを運んだあのロバのようにになりたいのです。共に行きましょう。主よ、あなたが助けてくださるならば、私は行きます。あなたが手に言葉を与えてくださるならば、この口を用いてください。この手でよければ、どうぞ用いてください。」主はあなたに大切な使命を与えています。

このメッセージをみなさんに送ります。また、自分自身にも語ります。そして、いつか私もパウロのように言います。「私は勇敢に戦いました。走るべき道のりを走り終えました。私は完成しました。」と。そして、イエス様が最後に語られたように言いたいのです。「すべては終わった。私がやるべきことを私はやりました。」と。神様がそうさせてくださることを信じます。■

特にこの時代、失望させるものは周りにたくさんあります。難しい問題がいっぱいあります。困難な時代であり、困難な国です。その国の中で私たちは神様に選ばれてここに立っているのです。その中で、主ご自身が「勇敢でありなさい。」と語られます。弟子達にははっきり語られたイエス様の言葉の一つに、「世にあっては艱難があります。」とあります。この世には戦いがあります。人間の力ではどうにもできない問題があります。しかし、イエス様は、「辛抱しなさい。みんな苦しいんだから。」とはおっしゃいませんでした。「世には艱難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。」と言われたのです。神様はすでに答えや備え、知恵を持っておられます。最後にどうなるかもご存知です。

信仰の書と言われるヘブル人への手紙11章に私の大好きな言葉があります。「弱者なのに強くされた。愚かな者なのに賢い者とされた。取るに足らない者なのに、杯が溢れる者になりました。」今日、私達に必要なのはこの信仰のスピリットです。教会に必要なのは消極的な言葉ではありません。それらはテレビに任せなさい。新聞に任せなさい。悪魔に任せなさい。悪魔は立派にやっていますから。私たちは別の世界の人です。別の領域を私たちは知っています。別の角度から見ることを私達は知っています。それを知っている者として私たちは人々に言うことができます。「勇敢でありなさい。」と。教会に必要なのは勇敢なリーダーです。この箇所にリーダーが絶対に忘れてはいけないことが書いてあります。それは、非常に単純なことです。私は牧会をすればするほど、非常に単純なことがいかに大事であるかがわかってきました。絶対に忘れてはいけないことをダビデは自分の経験からソロモンに言いました。

決して忘れてはいけない3つのポイント

1. 神様が選んでくださったこと。

神様が私を選んでくださったことを絶対に忘れてはいけません。主は聖所となる宮を建てさせるためにあなたを選ばれたのです。第1歴代誌29章1節にもそれが繰り返されます。「わが子ソロモンは神が選ばれたただ一人の者である。」あなたが神様を選んだのではなく、神様があなたを選ばれたのです。私は時々、どうして神様が私を選ばれたのかと不思議に思います。私だったら自分を選ばないのにとします。しかし、神様は私を選ばれました。

2. 神様が共におられること。

みなさん、難しく訳の分からないことが起こる時は、単純さに戻しましょう。その単純さとは、神様が共におられることを覚えることです。これは聖書の中で最も繰り返されている約束です。何が私達に勇気や力はどこから来ますか？答えは単純です。主が私を選んでくださり、私と共にいてくださるということから来ます。イエス様は世の終わりまでいつまでもあなたと共にいると言われました。もう一度これを悟らなければなりません。あなたは一人ぼっちではありません。神様があなたと共におられるなら、たとえ全世界があなたに敵対したとしてもあなたの方が有利です。

3. 神様が働きを完成させてくださること。

卒業されるみなさん、この三つを忘れなければあなたは大丈夫ですよ。神様が働きを完成させてくださいます。神様はあなたを見放さず、あなたを見捨てず、主の宮の奉仕のすべての仕事を完成させてくださいます。神様が始められた働きであるならば、神様は完成されます。私達の内側に良い働きを始められた方はそれを完成してくださいます。ハレルヤ！私はこの言葉に立っています。日本の国に栄光の教会が建て上げられます。それは神様がその背後で働いておられるからです。教会成長はあなたに

2007.3.9 AM9:00~

卒業・修了式

十字架を背負い 私についてきなさい!

■ 去る3月9日午前9時より、2006年度の卒業・修了式が執り行われました。

ゲストにホープチャーチのステイブ・ケイラー師をお招きし、全国各地から同窓生や卒業・修了生のご家族など、約百名程の会衆と共に、これまでの神様の数々の恵みを憶えながら、別れを惜しむ素晴らしい時となりました。ゲストの力強く励ましに満ちたメッセージの後、卒業・修了する一人一人が感謝の言葉を述べ、その後、証書を受け取りました。今回は学院長の促

しで、証書を受け取る前に、「自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。」マタイ16章24節の御言葉を背負うという時が持たれました。突然の事で、中々うまく担ぐことができず戸惑う場面もありましたが、主に従っていき新たな決心の時となりました。



■ALPSでの学びと訓練を通して神様はビジョンを明確に示してくださいました。素晴らしい1年間でした！お世話になった先生方とスタッフ、兄弟姉妹に感謝の気持ちで一杯です！すべての栄光を主イエス様にお帰します！



アルプスコース卒業 榎田秀和

■3年間の中で多くの仲間を得る事ができました。互いに励まし合い、慰め合い、また、祈り合える仲間を。神様ありがとう。最後に神の前に立つ時に、「よくやった。」と言われるよう、仕えるものとして神の前で歩いて行きましょう。



アルプスコース卒業 佐藤宣喜

■学院生活を通して真の友を得ました。周りの祈り、友の励ましに支えられて今の私があります。大好きな北海道を離れ、沖縄の家の教会で使えます。霊に燃え、主に仕えて参ります。今までも、またこれからも一緒にいてくださるイエスをほめたたえます。



アルプスコース卒業 松田仕恵

■この学院で三年間学ぶ事が出来た事を心から感謝します。学院で共に祈り、励まし合う友人、仲間が与えられました。そして主との深い交わりを持つ事が出来ました。これからも、主を拠り所とし信頼して歩み続けます！感謝



アルプスコース卒業 加藤寛子

■学院生活では、よく寝込む事が多かったのですが、3年間、この学院で学び通す事ができてとても嬉しいです。神様の守りとたくさんの祈りや支えによって今があります。これからの開拓伝道の為、また私の生活の為にお祈り下さると幸せです。みなさんに神様の祝福がありますようにお祈りしています！



アルプスコース卒業 足立潤子

■準備が全て整ったわけではありません。しかし、「卒業」=「出発」の時がやって来ました。主の御足の後を追って行きます。自分の力でなく、主の霊によって。



アルプスコース卒業 秋山知子

■ハレルヤ!! 一年という短い間でしたが、その分とても濃い学びの時を主が与えて下さった事に、感謝しています。これからも主を見上げ、前進します。支えて下さったすべての方に感謝!



1年修了 吉村美貴

2007年度1学期「全講義日程表」及び ゲスト・スピーカーのご紹介



●ゲストスピーカーの授業は聴講無料(席上献金あり)ですが、コースの授業は有料となります。詳しくは事務局までお問い合わせください。

■入学式/4月16日(月)午前9時より。17名の新入生が入学予定です。(3/30現在)

■1・2年コース (敬称略)

	月	火	水	木	金
1時間目 AM8:45~9:40	世界教会史1	旧約聖書概論1	比較宗教学	信仰の土台	使徒行伝
2時間目 AM10:00~10:55	鍛冶川利文	田中信矢	松原望	G・グドール	田中博
3時間目 AM11:05~12:00	英語 G・グドール・稲本妃美子	預言的礼拝 岡田留美子	約束の地を所有せよ 三浦雅範	イエスキリストの生涯 J・ジャンセン	

■アルプス(牧師・リーダー養成)コース

	月	火	水	木	金
1時間目 AM8:45~9:40	宣教と開拓伝道	教会カウンセリング	牧会論	ヨブ記	人間論
2時間目 AM10:00~10:55	R・グドール	小栗昭夫	田中博	石田吉男	西森昌二
3時間目 AM11:05~12:00	英語 G・グドール・稲本妃美子	弟子訓練 鍛冶川利文	聖書釈義1 松原望	弟子訓練 鍛冶川利文	聖書釈義1 松原望

■CMP(児童へのミニストリーと親業)コース

	月	火	水	木	金
1時間目 AM8:45~9:40	子供に於ける怒りの予防とケア	神を体験する	信仰的親業	聖書的児童伝道	聖書の児童伝道 ダイアン・グリコ
2時間目 AM10:00~10:55	ダイアン・グリコ ジョイ・グドール	小栗由美子	ダイアン・グリコ	ダイアン・グリコ	分かち合いの時間
3時間目 AM11:05~12:00	子供の為の創造科学 R・グドール	一般コースの授業・ALPSコースの授業			

■選択課目(午後)

	月	火	水	木	金
午後 PM1:00~3:00	ピアノクラス 稲本妃美子	フラッグクラス 稲本妃美子	韓国語クラス 金聖圭	実習 (必修)	ドラマクラス 鍛冶川紀子
		ボイス トレーニング グドール明美	タンバリン クラス 木村知子		

新宿シャローム教会牧師・学院顧問

稲福エルマ師

●4/16~20/16日は入学式。講義は17日から1・2時間目(全体授業)



インド 七人使徒団体設立。Heavenly Feast Global Worship Center創業者

マタイ・クルヴィア師

●5/22~24の2・3時間目(全体授業) 23日~牧師・リーダーセミナー(午後2時より)



アメリカ CFNI聖書学院 学院長・グローバル・ユース・ネット代表

アダム・マッケイン師

●5/28~6/1の1・2時間目(全体授業) 6月1~3日~YFNゲストメッセージヤー



グローバル・ユース・ネット 国内宣教アシスタント・ディレクター

ジャレット・プライアット師

●5/28~6/1の3時間目(アルプス授業) 6月1~3日~YFNゲストメッセージヤー



インターナショナル・チルドレンズ・ミニストリー学院 児童伝道講師・世界各地で用いられる。メキシコ出身

アルマ・ベルメホ師

●6/11~15 CMP/1・2時間目 全体/3時間目



全日本リバイバルミッション 代表。リバイバル聖書神学校 校長

有賀喜一師

●6/18~22 1・2時間目(全体授業) 3時間目(アルプス)



メキシコ アミスター・モントレ牧師。前CFNI聖書学院

ロドルフォ・ガルサ師

●6/25日~29日は2・3時間目(全体授業)





とりなし手の皆様へ World Prayer and Share Letter

世界のための祈り

ダイアン・グリコ師



クリスチャンがイスラムを理解する必要がある理由

(編集者注: 1、グローバル・プレイヤー・ニュースVol.3.No.1(2002年1~3月)ピーター・ワグナー記より。2、「インターセッション・フォー・アメリカ」ニュースレターVol.18, No.4(1991年4月)より。)

中東紛争がアラブ世界やイスラム教のテレビ映像を洪水のように世界中の何百万もの家々にもたらす時、イスラム教信者の礼拝する神である「アラー」は、アブラハム、イサク、ヤコブの神、そして私達の主イエス・キリストの神であり父と同じ存在であるという誤った信仰に拍車をかけることとなります。しかし、これほど真実からかけ離れたことはありません。ここに、クリスチャンがイスラム教徒に福音を分かち合うために知っておくべきことがあります。

「イスラム」信者とは？

イスラムとは、「服従」を意味する言葉です。イスラム原理主義者が、イスラム教は、巨大で優勢な全アラブ帝国を勝ち取り、治めなければならないという独断的な信念に固執しているの、善意ある平和な宗教だと片付けることはできません。その真相は、反キリストの精神に駆り立てられたイスラム教が中東、アジア、ヨーロッパ、およびアフリカの32ヶ国以上にわたって、圧制、倒錯、流血を容認し、8億人以上の魂を束縛し続けているというものです。

「アラー」とは一体何者なのか？

「アラー」という言葉はアラビア語で神を意味します。しかし、「アラー」は私たちクリスチャンの創造主(聖書の生ける神)とは全く違います。「アラー」はメッカのカッバ神宮で崇拝されている360の神々の一つで、モハメドよりずっと前からアラブ諸民族の崇拝対象でした。多くの伝統的なアラブ人は、「アラー」を最高の神、又、月の女神、アラの連れ合いであると考えていました。(イスラム教の月のシンボルに注目してください。)

モハメドとは誰なのか？

モハメドのアラブ人の両親は西暦570年メッカ、アラビア(現サウジアラビア)に住んでいました。アブドラ(モハメドの父)は彼を「アラー」(クオリッシュ部族の神)に捧げました。モハメドは25歳の時に、15歳年上のメッカの裕福な未亡人と結婚し、黙想しながら多くの時間を過ごしました。40歳の時、メッカ付近の洞窟の中で黙想していると、モハメドは恍惚状態に陥りました。そして、自分を大天使ガブリエルと名の「天国からのメッセンジャー」(口寄せ?)が、「アラー」は彼をメッセンジャーとして選んだと告げたと言いました。その時以来、モハメドは「アラー」が唯一の神であり、自分は「アラー」の予言者だと宣言し始めました。彼を信じていた人々は、メッカで他の偶像礼拝を排除し、唯一の神として「アラー」をかかげるために戦いました。「アラー」の他に神はない、というのがイスラム教の信仰告白になりました。

コーランとは？

いわゆる「大天使ガブリエル」から受けた啓示を編集したとされるイスラム教の「聖なる本」です。しかし、コーランは、マリヤの息子としてのイエス様に注目し、イエス様を予言者として、又、彼の奇跡の一部を認めますが、それは、明確にイエス様が神の御子であることは否定しています。(スラ9:30)また、コーランは、イエス様が神と同等であったことを否定し(スラ5:17、75)、イエス様が十字架にかかったことも否定しています。(スラ4:157)それゆえ、イエス様の復活については批評すらしません。

「イスラムの五本柱」とは？

①イスラム教徒は少なくとも一生に一度メッカに宗教的巡礼をしなければならない。(スラ22: 26-37) (モハメドは「アラー」をメッカのカッバ神殿内の黒石(実際には隕石)に関連づけました。彼は、人がその

- 石にロブげすると、その石は罪を取り去る力があると信じていました)
- ②信者は「アラー」が最も崇高な神であると宣言をしなければならない。
- ③1日に5回メッカの方に向かって祈らなければならない。
- ④新年の始めに施し物(捧げ物)をしなければならない。
- ⑤ラマダンの月には、夜明けから日没まで断食しなければならない。

「アラー」の誤った崇拜とイスラム教の圧制から解放されるなら、中東の顔と世界のある地域は何と違って来るでしょう！私達の主イエス様の真の救いの福音をイスラム世界にもたらすことは、主の願いであるに違いありません！「アラー」の霊に惑わされた人々が、私たちの主イエス・キリストの福音を聞いて応答する心が備えられるように、聖霊様と共にとりなし、霊的戦いをしていきましょう。力強い祈りと証しを通してイスラムに捕らえられていた多くの人が解放されます！

イスラム教徒がイスラエルの救い主を受け入れる

(編集者注: レビット・レターWWW.LEVITT.COM発行の、www.joelrosenberg.com 2007年2月、ジョエル・ローズンバーク記の記事より)

イラク 主要な戦闘活動が終わって以来、新たに5,000人以上のイスラム教徒がキリスト教徒へ改宗したことが確認されています。バグダッドでは14教会が建てられました。クルディスタンではより多くの教会が建てられ、ある所では500人~800人のメンバーがいます。新しい聖書はすぐ持っていかれ、絶えずより多くの聖書が必要とされています。(2003年以降、100万冊以上の聖書が運ばれています。)

エジプト 2006年、アラビア語の映画「ジーザス」60万本に加えて、アラビア語の聖書テープ750本が作られました。そして、アラビア語新約聖書が約50万部刷られました。カイロ近郊のある教会は、中東最大で約1万人の信者がいます。2005年に開催された祈りの聖会には2万人の信者が出席しました。

アフガニスタン 2001年9月11日以前には、イスラム教からの改宗者がわずか17人でしたが、今や1万人を越えています。何十人もの人々が毎週バプテスマを受けています。

カザクスタン 1999年には、たった3人のクリスチャンしか知られていませんでしたが、今や1万5千人以上います。

ウズベキスタン 1990年には、クリスチャンが皆無でしたが、今では3万人以上になっています。

スーダン 福音主義のスーダン人指導者が、「人々はイスラム教の真相を知りました。その代わりにイエスを求めています。」と言いました。1990年代前半以降、500万人のスーダン人がクリスチャンになっています。(2000年以降では100万人。)

イラン 1979年、イスラム教からの改宗者は500人だけだと言われていました。イラン人の牧師や福音派指導者は、100万人のイラン人信者がいると言っています。その大部分は地下の教会で集っています。

主流メディアでは報道されていませんが、聖書の神様はイスラム世界で強力に、且つ、劇的に働かれています。2001年、サウジアラビアのある聖職者は「悲劇」を報告しました。「毎時間667人が、イスラム教からキリスト教へ改宗し、毎日1万6千人のイスラム教徒がキリストを受け入れ、毎年600万人のイスラム教徒がクリスチャンになっている。」(*アルジャジーラ衛星テレビによる、アフマド・アルクアタニ首長の生放送インタビュー)

編集者注 イラン、イラクのシーア派を含む多くのイスラム教徒は、イエス様の夢と幻を見、その結果、聖書とイエス様にどのように従ったか良いかを求めています。イスラムからの改宗者は今や私達の愛する兄弟姉妹なので、彼らは私達の熱い祈りを必要としています。彼らの救いを喜び、彼らの成長のために祈り、様々な方法で聖霊様が彼らを助けてくださるよう求めましょう！

今回で**11回目**をむかえる ユースの集い
「ユース・フォー・ザ・ネイションズ」
 略してYFNの今年のゲストは、
あの熱い男たちが再び来日！
彼らのキリストへの情熱が、
あなたの心を燃やすだろう！
さあ、若者よYFNへ来たれ!!

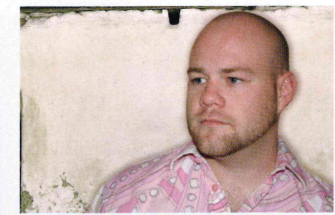


YFNのホームページを見よう!

<http://www.yfnjapan.com/>

「FREEDOM」

真理はあなたがたを自由にします



ジャレッド・ブライアント師
アダム・マッケイン師

- 参加費: 3,800円(1泊、寝袋持参の場合)
- 登録費: 1,500円
- 参加申し込み専用メールアドレス: info@cfnj.com

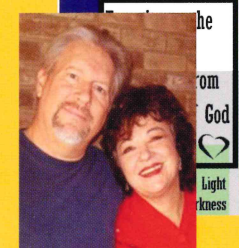
1日目(6/1 金)	2日目(6/2 土)	3日目(6/3 日)
	7:30 朝食	7:00 朝食
	8:30~9:15 グループ別デボーション	7:30~8:30 掃除 一時解散(各教会へ)
	10:00 集会②【ジャレッド師】	
	12:00 昼食	
	14:00~16:00 レクリエーション&ユース・リーダーセミナー	
18:00 受付	17:00 夕食	
19:00 集会①【アダム師】	18:30~20:30 集会③【アダム師】	18:30~20:30 ユースライブ【アダム師】
21:00 スモールグループ	21:00 スモールグループ	20:30 賛美/グローイングアップ
21:30 風呂・就寝	21:00 風呂・就寝	

●ユース・リーダーセミナー(6月2日(土)午後2時~4時)
 ※アダム・マッケイン師によるユースリーダーのための特別セミナーがあります!

- 日時: 2007年6月1日(金)~3日(日)
- 場所: CFNJ聖書学院

- 企画/CFNJ聖書学院内ユースフォーザネイションズ
- 申し込み/CFNJ聖書学院または以下の協力教会まで
- 協力教会/グレイスバプトルチャーチ札幌、ICF教会、札幌クリスチャングループ、北斗チャペル、穂別キリスト教会、旭川ナザレン教会、札幌グッドアワー教会、岩見沢シオン教会

KALEIDOSCOPE INTERNATIONAL



トム&レイアナ・フィールズ夫妻

「カレイドスコープ」がやってくる!

●時: 6月24日(月)~29日(金)午後3~5時
●所: CFNJ聖書学院ホール

「カレイドスコープ」(万華鏡と言う意味)とは、アメリカテキサス州ダラスのトム&レイアナ・フィールズ夫妻が始めた、芸術を通して礼拝し、伝道し、宣教をするミニストリーです。トム師は、かつて、舞台装置家、建築家として働いていましたが、今は、絵を描き、彫刻をする芸術家として、様々なアートやパーカッションを教え、また預言的絵画を描く方です。レイアナ師はクライスト・フォー・ザ・ネイションズ聖書学院(CFNI)で17年間音楽とドラマを教え、地域教会では30年間、ワーシップリーダーや音楽主事として仕えてきました。レイアナ師はオリジナル作品を造り出す数々のチームを育ててきました。また、力

強い油注ぎとメッセージを持った、質の高いミュージカル・ドラマや寸劇、演劇を書いてきました。この度日本と韓国へのアウトリーチの一環として、6月22日(金)から30日(土)まで「カレイドスコープ」がCFNJ聖書学院に滞在します。その間、祈りの歩行をしたり、地域教会で奉仕をしたり、聖書学院で教えやトレーニングをしていただきます。

- 内容: アウトリーチで芸術を用いる事についての教え。ヒップホップダンス、人間ビデオ(寸劇)、フラッグ。
- 受講料: 1時間 1,000円 *どうぞどなたでもご参加ください。

2007 祈りの祭典 IN 北海道 第二回

■日時/10月18日(木)~20日(土)
■場所/北海道青少年会館



メインゲスト・スピーカー/トム・ヘス師

エルサレム万国祈りの家の代表。
1987年から旧市街を見下ろすオリブ山に居を構え24時間の祈りのムーブメントを導く。

■国内ゲスト/村上好伸師・大久保みどり師
その他、道内の諸先生方をゲストスピーカーとしてお迎えする予定です。

エルサレムよ。わたしはあなたの城壁の上に見張り人を置いた。昼の間も、夜の間も、彼らは決して黙っていてはならない。主に覚えられている者たちよ。黙り込んではいけません。主がエルサレムを強く立て、この地でエルサレムを栄誉とされるまで、黙っていてはならない。イザヤ書62章6~7

<http://www.ihokkaido.com/>
■主催/祈りの祭典in北海道2007 実行委員会
■問い合わせ先/事務局 ICF教会内(高田 美樹子)TEL(011)669-3038